

各 位

上場会社名 株式会社ダイヤモンドダイニング
 代表者 代表取締役社長 松村 厚久
 (コード番号: 3073 JASDAQ)
 問合せ先 執行役員管理本部長 樋口 康弘
 電話番号 03-6858-6080 (代表)

平成27年2月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成26年4月11日に公表いたしました平成27年2月期の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

平成27年2月期第2四半期（累計） 連結業績予想数値の修正（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	12,405	120	70	△ 113	△48.03
今回修正予想（B）	12,642	412	378	113	47.91
増減額（B－A）	236	292	308	226	
増減率（%）	1.9	242.3	438.7	－	
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成26年2月期第2四半期）	12,369	272	300	110	46.17

平成27年2月期通期 連結業績予想数値の修正（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	25,427	607	507	89	37.85
今回修正予想（B）	25,858	899	815	268	113.46
増減額（B－A）	431	292	308	178	
増減率（%）	1.7	48.1	60.8	199.8	
（ご参考）前期通期実績 （平成26年2月期）	24,776	713	777	168	70.99

（注）平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しておりますが、前期実績につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」および「1株当たり当期純利益」を算定しております。

修正の理由

平成27年2月期第2四半期（累計）および平成27年2月期通期の連結営業利益、同経常利益、同四半期純利益（同当期純利益）につきまして、平成26年4月11日公表の連結業績予想を上方修正いたします。

平成27年2月期第1四半期の連結営業利益、同経常利益、同四半期純利益において、当社の業績予想を大幅に超過する見通しであること、平成27年4月より施行された消費税増税後につきましても、平成27年4月度および5月度において既存店売上高が前年同月比を上回って推移していること、平成27年2月期第2四半期以降につきましても前年同様の水準で連結営業利益、同経常利益、同四半期純利益（同当期純利益）が見込まれること（平成26年6月25日時点）等の理由からであります。

当社グループは、当第1四半期連結累計期間においては、「個店の強み」と「チェーン店の強み」を融合させた当社グループ独自の高付加価値・競争優位性を構築・追求した「マルチ（複数）ブランド」戦略により集約したブランドの更なるブラッシュアップを行うと同時に、同ブランドの新規出店に取り組んでまいりました。また、平成26年4月11日に公表いたしましたとおり、「KOMARS F&B PTE. LTD.（所在地：シンガポール）」の全株式を取得し完全子会社化するなど海外への積極的な店舗展開拡大により、収益基盤の多様化に努めてまいりました。

引き続き、平成27年2月期第2四半期以降も、お客様に『熱狂』的に喜んでいただくお店作りに注力する一方、当社グループ独自のポイント制度「DDマイル」等を活用したマーケティング強化による一層の集客力向上にも積極的に取り組み、更なる連結業績の向上に努めてまいります。

※ 上記予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因により本資料記載の予想数値と異なる可能性があります。